

永代供養墓(安身観音)要項 臨濟宗 長泉寺

中国で唐の時代に(寒山)という人がいて、「安身の処を得んと欲せば寒山は長く保つべし」(心身を安定させる場所を求めようとするならば、寒山という所に来られるがよい)と歌っています。長泉寺のこの観音様の元が、死後、最も安身(あんじん)の所で、最適な場所であると信じて、(安身観音)と名付けました。

■ 永代供養墓(安身観音)について

- ・ 長泉寺が永代にわたって供養し、管理しますので、後を継ぐ方が無くても、無縁仏になる心配はありません。
- ・ 自分で石塔を建てる費用がかかりません。
- ・ 仏教徒として、生前に戒名をつけたいと思われたら、住職が好きな言葉等を聞き、生前に臨濟禅宗の戒名をつけて差上げます。(今の名前のままで刻字しておき、死後に戒名をつけ、刻字することも可能です。)
- ・ 過去の宗旨、宗派は問いません。他の宗派の戒名でも可。

■ 追加の費用について

- ・ 生前に申し込まれても、永代供養墓の管理費はいただきません。

■ 生前に申し込むことができます。

- ・ 生前に、個人で、あるいは御夫婦で申し込むことができます。
- ・ 今、お骨を持っているのを安置したり、お墓のお骨を移し、納めることもできます。

■ 今の名前や戒名を法名塔に刻みます。

- ・ 観音様の前の法名塔に、名前や戒名を刻みます。生前に申し込まれた方は、赤の文字で刻み、亡くなると金色に替えます。

■ 永代供養墓の納骨について

- ・ 五十年忌まで骨壺のまま安置し、その後は骨壺から遺骨を出して、観音様の土の中に納め、永代にわたって、寺が供養いたします。(正月、お盆、両彼岸)
- ・ 亡くなった命日の読経や、供養の読経は、希望される方のみとします。

■ お墓を建てても、お墓を継承する方がおられない方について

- ・ お墓はあるが、自分が最後と思われる方。
- ・ 事情により、本家のお墓に入れられない方。
- ・ 御遺骨を抱えていて、埋葬できずにおられる方。
- ・ 遺骨の一時預かりもいたします。

■ 永代供養墓の費用について

- ・ 永代に供養する費用(1 霊)200.000 円 ・納骨費用(名前あるいは戒名を彫刻する費用と戒名料) 100.000 円 合計 300.000 円
- ・ 一度申し込まれ、納金されたら、返金はいたしません。

■ 生前に申し込まれた方で、当寺で葬式をされますと、過去帳に記載し、永代にわたって保管し、あなたが生きた証をとどめます。)

平成 19 年 3 月 1 日作成